



**中止**  
**乾燥注意報が発令され  
ると見込まれるため。**

**報道資料**

令和8年1月9日発表)

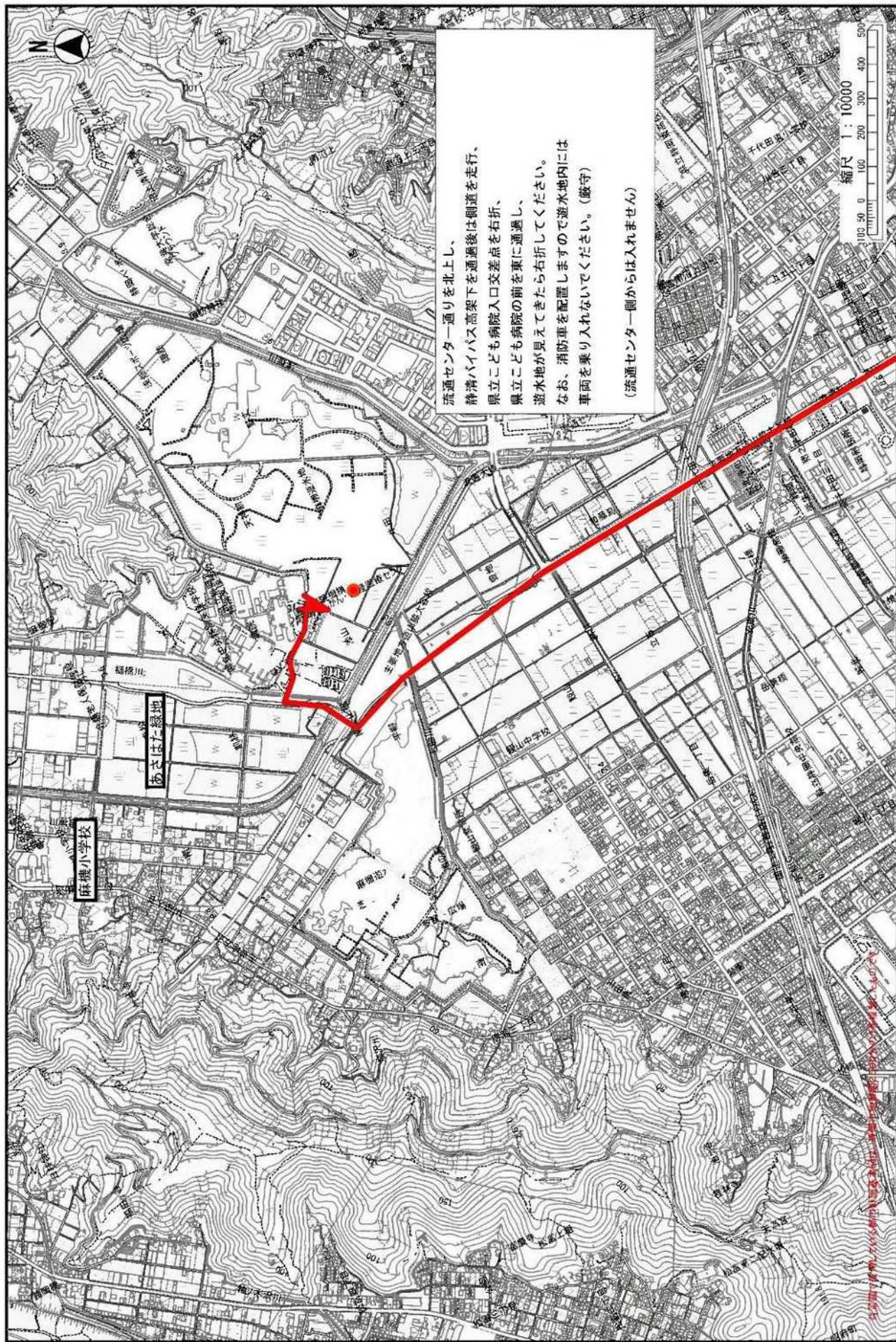
## 初春の草原の風物詩 麻機遊水地火入れの実施

◆ アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>草地を活性化させる火入れの実験を行います。</li> <li>火入れは草地表面の枯草を燃やし、古い草葉を除くことで新たな芽吹きを促し、灰が肥料となって草花の生育を助けるものです。伊豆や富士高原などでも初春に行われており、麻機遊水地では2016年より実施しています（2021年のみ中止）。</li> <li>実験結果は、自然再生や地域活性化に向けた取り組みの検証資料とします。</li> </ul>
◆ 日時・期間	<p>令和8年1月25日（日）9時～12時</p> <p>※前々日（23日）16時頃までに実施を決定します。火災の危険を避けるため、当日に、「強風注意報」「異常乾燥注意報」等が発表された場合も中止します。</p> <p>実施確認は協議会HP[<a href="https://asabata.org/">https://asabata.org/</a>]をご覧ください。</p>
◆ 場所	麻機遊水地第3工区（葵区牛田）
◆ 内容など	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立環境研究所 気候変動適応センター 西廣淳氏（麻機遊水地保全活用推進協議会 生態系分野専門委員）の指導のもと、ヨシやオギ、力ヤの生い茂る麻機遊水地第3工区のうち、実験区域9,300m<sup>2</sup>に火入れを行います。</li> <li>実験後、火入れの有無・草刈りの有無で異なる条件となる箇所の植物の生育状況を比較検証し、効果的・効率的な植生管理手法確立のための資料とします。</li> </ul>
◆ 主催など	<ul style="list-style-type: none"> <li>「麻機遊水地保全活用推進協議会」は、県市が事務局を務め、周辺自治会や企業を始めとした様々な団体で構成されています。麻機遊水地の貴重な自然環境を保全するとともに、有効活用を図るため、2016年に設立されました。</li> <li>延焼予防のため、千代田消防署の協力をいただきます。</li> </ul>

別紙資料 有・無

【問合せ】 緑地政策課 大規模公園係（静岡市役所7F）  
 担当 望月 杉山  
 電話 054-221-1251（平日）  
 090-9229-3046（土日）

ぜひ取材をお願いします



印刷日時： 2020年08月03日 13時53分59秒